



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0139号 2021年9月22日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

コロナ禍、困難を乗り越えて大会開く 各支部組織を増やして

新体制で取り組みを強化 第12回定期大会を開催 練馬支部



9月3日 第12回大会が開催されました。中心となる役員有病欠、労働相談員の不足など、支部活動が困難な状況の中でしたが、労働相談から4人が加入、3件が解決しています。

討論では「気持ちを共有して貰った事が力になった」との喜びの声に、改めてCUの役割を確認した大会でした。新書記長のもと、相談員の充実を図り、組織拡大に取り組む方針が採択されました。

執行委員長	金田 安夫	
副執行委員長	市瀬 正樹	
書記長	萩元 末子	
執行委員	高島素昭	千田恵美子
	桑原研二	薬師達哉
会計	伊藤悦子	
会計監査	佐藤 稔	

CUあだちが第9回大会 150人組織めざす あだち支部



CUあだち支部は9月11日東京土建足立支部

会館で第9回年次総会をひらきました。コロナ禍の中で蜜を避け、委任状による扱いを含め40人以上の組合員の意思を結集して次年度に向けて闘う意思を固めあい、組合員の暮らしや働く者の闘いについて交流しました。文書による発言、メールによる近況報告など個人加盟の組合にふさわしい、交流の場になりました。今はパワハラ事件を解決し東京を離れ長野で元気に働いている、雇い止めを解決金で解決し希望の資格試験に合格したなど組合員の声が大会に寄せられました。

CUあだちは引き続き、地域の働く者と手を合わせ、働く者の権利をまもる「駆け込み寺」として労働相談に力を発揮しよう。さらに、組合員をつなぐ機関紙定期発行を貫く、組合は次の大会までに150人の組織拡大をめざすことを

決めました。

- 委員長 波平 永
- 副委員長 舘 幸雄 中島優次
- 書記長 高島章寿 書記次長 保坂達也
- 会計 石神俊文(新)
- 執行委員 増子今朝男 平田潤 松館 寛
飯塚美智子(新) 西村 充生(新)
相馬 優作(新) 宮本山起
- 会計監査 石川直美 松原豊子

相談者の声に寄り添い 第12回大会を開催 文京支部

コロナ禍と台風の中、9月18日(土) コミュニティユニオン東京(CU東京)文京支部の第12回定期大会が行われました。



小川富弘委員長は、労働組合は助け合い頼られる組織であると強調しての開会のあいさつでした。CU東京本部の高木典男書記長が1600人達成の意義を話され、文京区労協の大谷昇議長が文京地域の中で働いている個々の労働者の相談に対応するなどCU東京文京支部が役割を果たしていると連帯のあいさつをいただきました。支部の組合員でもある日本共産党福手ゆう子都議会議員はジェンダー平等社会をめざすと話し、大会を激励していただきました。(東京土建文京支部からは例年通りメッセージをいただきました。ありがとうございました。)

大会では、労働相談が孤立した労働者の励ましになっている事、あきらめずに闘えば、

厚労省の見解も変えられることなどが報告され、組合員の心のつながりでは、大会ごとに直接個々の組合員から帰ってくる「委任状」(欠席ではあるのですが)の役割にも触れ、文京支部の第1番目の加入者が、昨年入院給付金を受けたこともあってか、12年間の中で初めて、「委任状」に意見を載せて返信があったという嬉しい報告もありました。

最賃1500円実現の運動と、文京支部200名を目指す決意を確認して終了しました。

- 執行委員長 小川富弘
- 副執行委員長 遠藤弘幸 益子茂 伊藤弘子
- 書記長 山田三平
- 書記次長 湯本弘美
- 執行委員 岩永有礼 鈴木志摩
山岸恒子 須賀和男
- 会計監査 椎名容子

一年で30人以上が加入 第15回大会開く ユニオンちよだ

「ユニオンちよだ」は、2021年9月18日(土)エデュカス東京にて第15回定期大会を開催しました。



コロナ禍での開催になりましたが、感染予防対策をとり28名の方が出席しました。冒頭、鈴木真理委員長から、この1年で30名以上が加入し組合員数が100名を超えたことが報告されました。

来賓から、CU東京の佐藤委員長は、組合員数が1600名を超え改めてCU東京の重要性

について、次に千代田区労協の里見副議長は、引き続きユニオンちよだ支援していくと激励を、日本共産党千代田地区鈴木秀治労働部長は、千代田区における様々な情勢、最後にCU東京寺川書記次長からは、千代田区で働いていた時、マタハラに遭った経験から労働組合の大切さについてお話し頂きました。

争議の経過報告では、この1年で27件が解決し現在も14件が争議中であり、当該組合員7名からは解決報告や争議の説明がありました。総括では、ユニオンちよだは、今後もSNS戦略を活用し早期解決を目指すこと、今年は組合員150名を目指すこと、必要に応じて弁護士事務所やCU東京の他支部とも連携していくことを確認しました。解決した組合員に対して、今後は別の案件で協力して頂くことをお願いしました。

大会で選出された次期役員は次の通りです。

- 執行委員長 鈴木真理
- 副執行委員長 茂呂文彦
- 書記長 鈴木明彦
- 執行委員 香取義和・小番孝也・宮下景子・中野猛司・増淵保志・池田聡
- 会計監査 眞鍋泰治・青木和代

相談件数は 前年を上回り470件 2020年度労働相談結果について

2020年度の年間労働相談の結果を川村好正書記次長が分析し、第13回定期大会で報告されました。2020年4月から2021年3月までの労働相談件数は、文京、足立、千代田、渋谷、江戸川、江東、港、品川、葛飾、中野、三多摩、豊島の12支部で合計470件でした。



川村好正書記次長

年間労働相談件数は、集計を取り始めた2011年度が295件、2018年が389件、2019年が346件で、2019年との対比では35.6%増、2018年との対比では29.5%増となっています。

専任相談員をにおいて

労働相談件数は、足立、千代田、江戸川、江東、港ならびにエリアの広い三多摩で年間40件台を数えています。とくに江東は145件で今年度も100件を超し毎年100件を超える相談に応じています。江東の場合、専任相談員3人で対応していることが相談件数の増加に寄与していると考えられます。全体として、各支部の労働相談体制は、充実しつつあると評価出来ます。

相談数は増えつづけ

相談件数の増減を支部ごとに昨年と比較してみると、文京(14→24)、足立(13→40)、千代田(33→67)、渋谷(14→12)、江戸川(39→42)、江東(115→143)、港(38→40)、品川(12→17)、葛飾(10→6)、中野(19→23)、三多摩(30→40)、豊島(9→10)で、文京、足立、千代田、江戸川、江東、港、品川、中野、三多摩、豊島の相談件

大いに学ぼう

CU東京 第3回活動者会議

10月3日(日) 13:30

ラパスホール

講演 箕輪 明子
名城大学准教授

**「コロナ禍の
可視化された労働実態」
(仮題)**

数が増えています。各支部とも労働相談員を増やし、さらに体制を拡充・強化することが望まれます。

相談者の組合加入も増え

労働相談者の組合加入率は、2011年度35.2%、2018年度が42.9%、2019年度は35.3%、2020年度は41.5%で昨年より増えました。

各支部の労働相談者の組合加入率で50%を超えるのが、文京、足立、千代田、品川、葛飾、三多摩の6支部です。文京が66.7%、足立が54.3%、千代田が77.6%、品川が52.9%、葛飾が66.7%、三多摩が62.5%となっています。

労働相談の解決率は、2011年度が18.3%、2018年度が28.1%、2019年度が23.3%、2020年度が24.9%で解決率は昨年より上回りました。

相談者の年齢が30代から50代に集中しているのは例年通りです。港は30代、千代田は40代の相談者の多いのが特徴です。

コロナ禍で相談内容も深刻に

労働相談内容は、「解雇・雇止め・退職強要」が今年度も第一位、「嫌がらせ・イジメ・セクハラ・パワハラ」が第二位、「労働契約・賃金労働条件」が第三位、第四位が「賃金未払い・残業代未払い」という結果で、昨年と同様の結果でした。「消費税増税」に次ぐ「新型コロナ」の影響による経済情勢の悪化が作用しているものと思われます。

相談は組合員からの紹介

相談経路は、「組合員（紹介含む）」がトップで31.5%、以下「民主団体・政党」「ネット」「全労連ホットライン（労働相談ホットライン）」の順でした。「組合員の紹介」の多いのが特徴です。ビラ・チラシは昨年の4.0%より下がり2.1%でした。ネット経由は、一昨年は22.9%、昨年は26.3%、今年は「全労連ホットライン」と合わせると29.8

%という状況です。

団体交渉による解決

解決手段は、団体交渉がダントツで、解決内容も団交による金銭和解が圧倒的でした。117件の解決のうち職場復帰は2件でした。労働委員会も含む法廷闘争・労働審判による解決（和解も含む）は7件（解決件数の6.0%）、労働審判・労働委員会・地裁本訴の提訴件数の合計は11件（昨年は9件）でした。

新型コロナに関する相談件数は、全体で130件でした。

CU東京をアピールしよう

缶バッジ
できます



■自民党総裁選がヒドイ！ 国民の怒りと自公政治の行き詰まりで辞任した。安倍・菅政治の継続を競っている、全候補が原発再稼働。森友・桜は隠ぺいで説明責任放棄、無責任なコロナ対策に反省はない。政権交代を望むのは当然だ。反省がないのはマスコミも同様ではないか。たれ流し報道はゴメンだ。■この9月あだち、ちよだ、文京と支部大会が続いて開かれた。文京では相談者の声に寄り添い、あきらめずに活動することが大事と強調された。あだちでは諸課題が山積する中、倍化以上の組織の前進、次の大会までには150人めざすと確認した。それぞれの支部が最高の組合員数で迎えていることを報告したい。■秋の運動の本格的活動めざし。第3回活動者会議を10/3開く。第一の目的は大いに学ぼうだ。講演は箕輪明子名城大学準教授。長く非正規労働者、女性労働者の問題を研究されてきている。コロナ感染状況を踏まえ、スクリーンに登場、リモートによる講演に。先に大会を開いた、意気高い3支部の報告も予定している。総選挙の取り組みも呼びかけたい。